

みどりのこだま



福島県会津農林事務所会津坂下農業普及所

(住所) 河沼郡会津坂下町大字見明字南原 881 (電話) 0242-83-2112

金山普及所

(住所) 大沼郡金山町大字川口字上町 656-1 (電話) 0241-54-2801

新所長あいさつ



(所長 わたなべ 渡部 たかし 隆)

会津坂下農業普及所は、4月の定期人事異動によりメンバーが入れ替わり、新たなスタートを切りました。農業者並びに農業関係者の皆様とともに、両沼地方の農業振興になお一層取り組んでまいりますので、今後ともよろしく願いいたします。

さて、農業だけでなく、様々な職業で現在、担い手不足が問題となっております。その原因としては、少子化や職業観の多様化など様々な要因が複雑に関係しています。

他方、農業に対する追い風もあります。都市住民の中に、農村や農業に良いイメージを持った人が増えています。生き方や価値観、生活スタイルの変化によって、食や健康、農村の持つ豊かな環境や農業などへの関心が高まってきています。これら農業に関心を抱いている人々の夢をしっかりキャッチし、農村地域の思いとマッチングしていくことが大切になってきています。

福島県は、東日本大震災と原発事故による多大な被害に今なお苦しんでいますが、こういった中であっても、農産物の産地づくりが進み、新規就農者の受入体制がしっかりしている地域では、地元の後継者が育ち、県外等からのIターン等が続いています。農村地域活性化のためには、自分たちの地域の強みをさらに強化し、現在住んでいる住民が誇れる地域づくりを着実に進めていくことが大切であると考えております。

会津坂下農業普及所の平成27年度の活動に当たっては、管内農業・農村の地域特性に配慮し、「ひとづくり」「ものづくり」「地域づくり」の3つの視点に立って、関係機関・団体と連携し、効率的かつ効果的な普及指導活動を展開します(関連記事は次頁をご覧ください)。具体的には、園芸振興と良質米生産を最優先課題として取り組むとともに、地域農業を牽引する多様な担い手の育成を支援してまいります。また、農産物を生産する喜びに加え、加工して新たな価値を創造する喜び、自分が作り出した商品(農産物・加工品・サービス等)を販売し感謝される喜びなど、農業者が本来享受すべき喜びのシーンを取り戻し、それぞれの地域、集落に合った「地域づくり」を進める活動を支援してまいります。

農業はすべての産業のベースであると同時に、すべての産業の最先端に位置する産業であると考えております。なぜなら、農業はあらゆる職業を包括する総合産業だからです。

農業におけるあなたの得意分野は何ですか?あなたの得意なこと、私たちと一緒にもっと伸ばしていきませんか?

会津坂下農業普及所の新しい普及指導計画をご紹介します!!

当所では、農業者の所得向上や地域農業を更に活性化させることを目的に、地域農業の動きや課題解決に必要な取組等を勘案し関係機関と協議して5年毎に目標を設定し、それを達成するための計画を立て活動しています。この度、5年ぶりに会津坂下農業普及所の計画を策定しましたのでその概要を紹介いたします。

今回策定した新しい計画は、視点を「ひとづくり」「ものづくり」「地域づくり」に分けて整理しています。

「ひとづくり」は、地域農業を牽引する認定農業者をはじめとする意欲ある担い手への支援を軸に、地域農業を支える多様な担い手

【普及指導計画の概要】

視点	実施課題名	キーワード
ひとづくり	会津の農業を牽引する多様な担い手の育成	認定農業者、新規認定農業者、青年農業者、女性農業者、農業法人
	活力溢れる集落営農の推進	集落営農、農用地利用改善組合、人・農地プラン、日本型直接支払い制度
ものづくり	中核的担い手も高齢者も全員で担う多様な野菜産地力の育成	きゅうり、トマト、ミニトマト、インゲン、アスパラガス、産直
	所得向上に向けた園芸産地力の強化（花き・果樹）	キク、トルコギキョウ、宿根カスミソウ、リンゴ、かき
	世界に誇れる極上の会津米づくり	一等米、天のつぶ、疎植栽培、直播、水稻大規模経営体
	オリジナル品種等をいかした土地利用型作物の生産振興	会津のかおり（ソバ）、大豆、小麦、ナタネ、エゴマ
	会津のブランド力を高めた畜産の振興	会津地鶏、酪農、肉用牛
	安全・安心な農産物の生産・販売に向けた取組強化	農産物モニタリング、農薬適正使用、GAP（生産工程管理）
	環境と共生する農業の推進	エコファーマー、有機農業
地域づくり	地域資源を活用した特色ある農業の推進	金山赤カボチャ、青大豆、特産品開発、農産物直売所、6次化、鳥獣害対策

会津坂下農業普及所はこのような活動をとおして地域農業の活性化支援を行います！



金山特産の赤カボチャ



園芸品目の現地指導会



担い手育成会議の様子

6次化支援

(岩沢)

福島県指導農業士・青年農業士の退任者と新規認定者の紹介

平成27年3月をもって、3名の指導農業士と1名の青年農業士の皆様が退任となりました。これまで福島県農業士としてご活躍いただき、誠にありがとうございました。

また、平成27年2月12日、郡山市「清稜山倶楽部」において福島県農業士認定証交付式が開催され、福島県知事から、4名の方が指導農業士の認定を受けました。今後、新規就農者など青年農業者の育成についてご尽力をいただきます。

【退任者】 指導農業士 横山 正治 氏（会津美里町 平成14年度認定）
指導農業士 上野 栄太郎氏（会津美里町 平成20年度認定）
指導農業士 鈴木 静代 氏（湯川村 平成17年度認定）
青年農業士 大久保 朋洋氏（湯川村 平成18年度認定）

【新任者】 平成27年度より新たに認定された指導農業士の皆さんをご紹介します。

新任



指導農業士 おぼた しゅういち 小畑 修一氏（会津坂下町）
果樹（リンゴ120a）＋水稲

新任



指導農業士 たかぎ かずひこ 高木 和彦氏（湯川村）
水稲（800a）＋トマト（施設）

新任



指導農業士 ふくだ まいこ 福田 真実氏（会津美里町）
酪農（乳牛85頭）＋水稲

新任



指導農業士 ふくだ まいこ 福田 真実氏（会津美里町）
水稲（2,600a）＋ソバ＋小麦

カスミソウ産地の更なる強化へ向けて！

夏秋期日本一のカスミソウ産地である昭和村は、栽培を始めてから今年で32年目を迎えました。

産地ではこれまで、「JA会津みどりかすみ草専門部会」と「昭和花き研究会」が切磋琢磨しながら、新品種の導入や鮮度保持技術の確立などのブランド化へ向けた取組をとおして現在の産地規模へと拡大してきました。

今般、産地力の更なる強化へ向けて、この2つの組織が一つとなり、新たなJA会津みどりかすみ草専門部会として生まれ変わりました。

去る5月13日に開催された出荷会議では、全国28社の卸売市場の関係者が一堂に

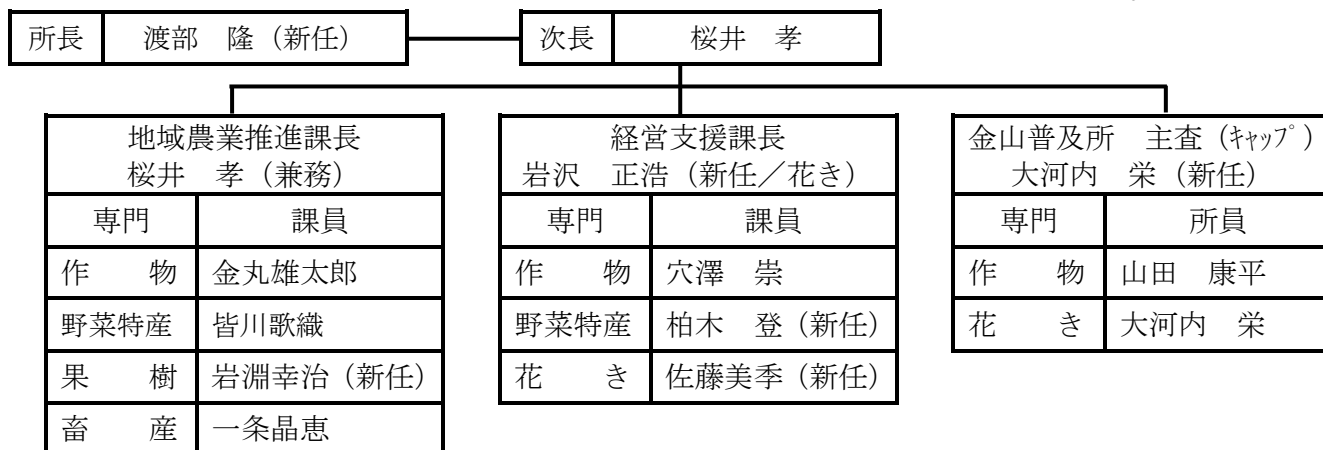
紹介、今年の販売に向けた具体的な提案、意見交換が行われました。

今年の出荷目標である345万本を安定的に出荷できるよう、普及所としても技術面、流通面の支援を重点的に行っていきたいと考えています。（大河内）



会津坂下農業普及所の新体制

平成27年度は下記の体制で業務を行いますのでよろしくお願いいたします。



お知らせ

◎ブログによる情報発信を行っています！

会津坂下農業普及所の活動を紹介するブログの運営を始めました。職員の日々の活動の様子を載せていきますので是非ご覧ください。

(坂下普及所 URL) <http://aidubange.exblog.jp/>

(金山普及所 URL) <http://blog.livedoor.jp/kaneyama2015/>

◎県立農業短期大学の研修のご案内

県立農業短期大学校では就農研修や農業機械研修など様々な研修を行っています。関心のある方は、県立農業短期大学校のHP「平成27年度研修計画一覧」をご覧ください。普及所までご連絡ください。

◎両沼農村青年クラブの会員募集中！

両沼農村青年クラブでは会員を募集しています。良食味米の生産に向けたプロジェクト活動等をおして若手農業者間の交流を深めています。興味のある方は会津坂下普及所の金丸までご連絡を！

◎米の全量全袋検査について

平成27年度も平成26年度と同様に検査を実施します。漏れのないように検査して、「安全・安心な美味しい会津の米」を県民一丸となってPRしていきましょう。

◎経営所得安定対策の申込みは6月30日まで

申込期限が迫っております。認定農業者、認定新規就農者、集落営農が加入対象になっていますので、忘れずに町村役場に申し込んでください。

◎定期的なコメ作り情報を発信しています！

普及所では「両沼地方米づくり情報」を定期的に発行しています。詳しくはHPをご覧ください。
<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36243a/bangehukyu-7.html>

